

子安台みんなの家(現・子安の丘みんなの家)

みんなで汗水流してつくった「みんなの家」

金曜日の夕方、週に一度の「家族食堂の日」。この日は子どもから大人までいろんな人が集まります。時間差で「あ、●●さん来た」という感じで、人が増えていきます。まさに「みんなの家」です。



元々あった建物の母家の柱や梁などを残しほぼ解体してリノベーションした

みんなの家の始まりは、車が入らない、道路が狭い、坂に面している、という困った空き家を、不動産コンサルタントの田中社長が買い受けたことでした。リライトはこれまで、いわゆる「負債」と言われるような、なかなか買手のつかない不動産をリノベーションし、地域で活用してきた実績があります。子安台の「空き家が多く高齢化が進んでいる」という課題を解決する糸口として、この空き家を改修し地域の拠点にできないかと田中さんは考えました。「みんなの居場所をつくりたい」という希望をもっていた子安台の住民の阿部さんも含め、最初は4人の仲間が活動を始めました。

そんな時、知ったのがヨコハマ市民まち普請事業です。この年はコロナの影響で、1次コンテストが3か月遅れて開催される予定でした。知ったのは1次コンテストの2週間前。例年ならば間に合わない時期で

したが、「地域に開く拠点を整備するには、とても良い制度だ」と1次コンテストに臨みます。1次コンテストは勢いで通過したものの、審査員からの2次コンテストに向けた講評は、「さらに地域の人たちを巻き込んで」というものでした。

しかし、まち普請に取り組みメンバーの中でこの空き家の近くに住んでいる人はおらず、言わば地縁のないよそ者だけの集まりで、「どうすれば、地域に溶け込めるのか?」を悩みました。チラシを撒いてイベントをやるうとしても、「コロナの真ただ中でイベントすらできない。どうすればいいのだろうか、と焦っていたところ、開嶋さんという地元の民生委員との出会いがありました。開嶋さんは子育て支援団体のサテライトの場所を探していたときに、タウンニュースを見て田中さんたちの活動に関心を持ち参加したのですが、「この場所は面白くなるかも」と可能性を感じます。開嶋さんが「

緒に活動をはじめたことで、「開嶋さんが紹介してくれるなら」と地域から少しずつ信頼を得ていきます。さらに開嶋さんのネットワークで、小学校や社会福祉協議会など、地域の団体とどんどんつながり、関係者が一挙に増えました。最初は「不動産屋が何をするのか?」と懐疑的に見ていた地域の人たちも、「面白いものができそう」と期待を寄せられるようになり、その勢いで2次コンテストも通過しました。



改修では、思っていたより空き家が古く、フルリノベーションに近くなり、資金が足りなくなりました。そこで、できる限りの工事の省力化と同時に、資金集めも行うことにしました。地元の事業者などをお願いして、セメントや石膏ボード、エアコン、冷蔵庫、床暖房など様々なもの



和菓子づくりのイベントの様子。定期開催の家族食堂以外に、さまざまなイベントを実施している

を寄付してもらいました。

セメントは、ミキサー車が現場にやってきて、どんどんセメントをつくり、それを皆で運ぶというまさかの方法。メンバー総出でセメント運びをして、まさしくへろへろになりました。また、床暖房はプロの指導を受けて、みんなで設置しました。こうした自分たちの手で「みんなの家」をつくる活動が、さらに支援者を集め、現在の中心メンバーには「工事になってから参加した」という人も大勢います。「いやー、あのセメント運びは参ったよな」まさか床

暖房を自分たちで設置するとは思わなかった」など思い出話を笑顔ながらに語ります。完成までの汗水流した作業がメンバーをついに、その後の活動へのステップになったのは確かです。

名称を改め「子安の丘みんなの家」として2022年5月にオープンしてからは、様々な活動が展開しています。1階はキッチンがあるので、当初から目指していた「家族食堂」を週に一度金曜日に開催しています。子ども食堂ではなく、「家族食堂」にしたのは、「親を救わないと子どもは救えない」という阿部さんの思いから。親子で参加して、最初は遠慮していたお母さんたちも、徐々に本音を出してくれる場になりました。

フリーマーケットやキャンドルイベント等の催しも定期的に行われ、子どもが自分で作ったものを販売する、というようなワークショップも行われています。週に一度は、学習教室としても活用されています。こうした状況をメンバーのICT担当が発信し、さらに参加者が増えるという好循環にあります。多様な職



解体からコンクリートの打設、その他内装工事などでもできるところは自ら手がけた

種の人たちが集まることで、多様な活動が展開しています。「地域のことをやりたい」という人は結構多いと思います。でも、きっかけがなくて関られない。みんなの家が、そのきっかけになればと思います」と田中さん。おっしゃるとおり、みんなの家はつながりのきっかけを地域に生み出しています。

子安台みんなの家(現・子安の丘みんなの家)
(神奈川県)

整備主体：子安台みんなの家をつくる会
整備場所：神奈川県子安台1丁目17番7号
整備内容：地域の多世代交流拠点の建設
竣工時期：令和4年8月